

ハンブルク、2013年4月5日

JFFH – Japan-Filmfest Hamburg
2013年5月22日から26日まで
www.jffh.de



映画『のぼうの城』がオープニング

第14回ハンブルク日本映画祭のテーマは“サムライ”

恒例のハンブルク桜祭りの1週間後、2013年5月22日から26日までハンブルク日本映画祭が開催されます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

ハンブルク日本映画祭へようこそ。

5月22日メトロポリス映画館で上映される『のぼうの城』(2012)がオープニングを飾ります。

ドイツ初公開の『のぼうの城』は和田竜原作、犬童一心、樋口真嗣共同監督作品、豊臣秀吉(市村正親)にケンカを売った“のぼう”こと成田長親(野村萬斎)。日本全国で大ヒットした作品です。オープニングには同作品に出演された女優の中山京子さんがゲストとしてお越しになります。

本年度のハンブルク日本映画祭のテーマは“サムライ”です。

ドイツ初公開の『るろうに剣心』(2012)も上映されます。

『るろうに剣心』は和月博伸宏によるマンガ『るろうに剣心-明治剣客浪漫譚-』を原作にした大友啓史監督の実写映画です。幕末の動乱に名を轟かせた暗殺者、“人斬り抜刀齋”こと緋村抜刀齋が明治11年に“剣心”と名を変え、以前とは打って変わって“不殺(ころさず)の誓い”を掲げ、人々を助ける流浪人(るろうに)として東京に流れつきます。

お問い合わせ: presse@nihonmedia.de | www.jffh.de
Nihon Media e.V. | Lottbeker Weg 34a | 22397 Hamburg
+49 (0)40 606 855 72 | www.nihonmedia.de

『闇金ウシジマくん』(2012)

真鍋昌平作の大ベストセラー漫画を山口雅敏監督がヨーロッパ財政危機に合わせて映画にしました。この映画は社会的な不均衡で砕けた資本主義社会の暗い模写である。つれないサラリーマン金融ウシジマが客の窮地と虚栄心を行き来し、約束の日に借金を返せない者には、容赦のない対応をする。また北米最大の日本映画祭「第6回 JAPAN CUTS ジャパン・カット！」で大島優子が鈴木未来役で「Cut Above Award for Outstanding Debut」を受賞した作品です。

日常生活から海辺の家に逃げて来た若者3人が、様々な非常識な遊びで時間をつぶす。ヌーベルバーグの伝統を守りながらも、くどい問答と精巧なプロットを削った『はなればなれに』(2012)は下手大輔監督による第1作目の長編映画です。超現実的な映像や長い静かな視点、独特な音楽と主役3人によるユーモラスなやり取りは、見ているひとを笑顔にさせます。

第25回東京国際映画祭 日本映画・ある視点部門正式出品 第8回大阪アジア映画祭出品
海外初公開作品

山本透監督の第2作品目の『グッモーエビアン!』(2012)

数年間海外で放浪生活を送っていたパンクバンドのギタリスト、ヤグが突然舞い戻って来る。シングルマザーであるアキと母を支えるしっかり者のハツキの日常生活が混乱していく。

ハツキ役を演じた三吉彩花が第67回毎日映画コンクールスポニチグランプリ新人賞を受賞しました。

海外初公開の入谷朋視監督作品『HESOMORI-へそもり-』(2012)。

1500年の伝統を持つ越前和紙、和紙の里福井県越前市を舞台に現代とした歴史をつなぐミステリー・アドベンチャー。自然と文化が息づく村で育った4人の少年たちの友情と成長を描く。また越前神社や福井県の自然、日本古来の美しい風景を堪能できます。

またその他の主な作品には、園子温監督最新作品『ヒミズ』（2012）、世界でいちばん優しい“再生”ラブストーリー、川野浩司監督作品『ほしのふるまち』（2011）、歪んだ愛はどんずまったまま、小栗はるひ監督作品『どんずまり便器』（2011）、昭和 38 年の大晦日から昭和 39 年オリンピック開催までを描いた村上匡宏監督作品のアニメーション『昭和物語』（2011）、さらには甘詰留太のマンガ原作、清水厚監督作品の SM ラブコメディ第一章『ナナとカオル』などが上映されます。

プログラムや映画の内容、最新情報などは、JFFH のフェイスブックページをご覧ください。
www.facebook.com/japan.filmfest.hamburg

2013 年ハンブルク日本映画祭第 14 回へ、是非お越し下さい。